

放射線科 臨床研修到達目標（選択）

1. 特徴

高度医療機器の共同利用を行っており、地域の医療機関からの CT、MRI、核医学の検査依頼を承ります。MRI、他列型 CT、ガンマカメラと最新の装置を導入し、高速で高精細な画像検査が可能です。画像診断報告書を即日作成し、画像と共にお渡しします。

2. ねらい

放射線診断学の基本的な原理を理解し、基本検査の読影法を身につける。
核医学検査の原理を理解し、基本検査の解釈法を身につける。
放射線治療の基本的な原理を理解する。

3. 一般目標

I. 放射線診断学（IVR を含む）

- 1) 基本的な X 線検査法を列挙し、各々の意義を述べることができる。
- 2) 適切な X 線検査法を指示できる。
- 3) 基本的な X 線写真を読影できる。
- 4) 超音波検査の基本的な画像の成り立ちを述べることができる。
- 5) 超音波検査の正常、異常所見を述べることができる。
- 6) CT の原理を説明できる。
- 7) 造影剤の使用方法和副作用を述べることができる。
- 8) CT 上の頭部、体幹部の解剖学的構築を述べることができる。
- 9) CT の正常、異常所見を述べ、該当疾患を列挙できる。
- 10) MR I 検査の基本的事項を述べることができる。
- 11) IVR の基本的事項を述べることができる。

II. 核医学

- 1) 核医学検査装置の基本構造を説明できる。
- 2) 繁用される放射性医薬品を列挙することができる。
- 3) 各種核医学検査の適応を述べることができる。
- 4) 基本的な核医学画像の所見を述べることができる。

III. 放射線治療学

- 1) 放射線生物学の基本的な事項を説明できる。
- 2) 放射線物理学の基本的な事項を説明できる。
- 3) 放射線治療装置の基本的な構造、操作法を説明できる。
- 4) 放射線治療の適応を述べることができる。
- 5) 疾患別に放射線治療の方法を説明できる。
- 6) 疾患別に放射線治療計画を指示できる。
- 7) 放射線治療患者の経過を臨床的に追うことができる。
- 8) 放射線治療患者の副作用に対処できる。

4. 研修方略

画像診断に関しては、CT・MRI・単純写真・核医学を可能な限り多数読影し研修していただく。各指導医が正しい診断にたどり着けるように指導する。IVR・超音波では、検査に携わり指導医のもとに研修する。放射線治療を希望する者には実際の治療や治療計画を研修させる。研修中にテーマを与えて、研修の最後にパワーポイントにて発表する。

5. 週間スケジュール

| 科 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|------|----------------|-------|-------|-------|----------------|-------|
| 放射線科 | 放射線診断 (IVR) | 放射線診断 | 放射線診断 | 放射線診断 | 放射線診断 | 放射線診断 |
| | 放射線診断 | 放射線診断 | 放射線診断 | 放射線診断 | 放射線診断 (IVR) | |

※放射線治療、核医学の研修を希望する者は別途スケジュールを設定する

6. 研修評価

- 1) 自己評価：PG-EPOC を用いて自己評価を行う
(症候、疾病・病態の経験については PG-EPOC にて確認を行う)
- 2) 指導医による評価：PG-EPOC を用いて研修医を評価する
(症候、疾病・病態の経験については PG-EPOC にて確認を行う)
- 3) 研修医による研修体制評価：PG-EPOC を用いて診療科全体（指導内容、研修環境）を評価する

7. 指導体制

指導責任者 大久保 充

指導医 大高 純、山田 隆文